

第11回 タンゴ 2 と チャチャチャ

1. 7種目の練習 と タンゴ（1）の復習をする。
2. 2番の二回目、中央斜めに向かった所から、ウォーク、オープン・リバース・ターン（レディ・アウトサイド）を教える。（「3番」と称する。基本のリズム S.S.Q.Q.S.Q.Q.S.は同じ）
3. 部屋の大きさに合わせ、ルーティンを作って最初は全員同じルーティンで踊らせる。慣れてきたら自由に続けて踊り続けることも可能であるが、未だこの時点では無理であろうから、全員が同じルーティンで踊るのが他の組の邪魔をしないので良いであろう。
5. ワルツ、ブルース、クイックステップなどの種目とタンゴのホールドとは、根本的に違うことを良く理解させておく。
6. 但し、ウォークの左足の C.B.M.P.や右足前進の時の右サイド・リードなど、タンゴのリズムも、正確に教えると生徒さんは混乱するであろう。未だ足を揃えた時、爪先の向きに対し、身体が左へ1/8ひねる説明は必要ない。

◎ タンゴの最終ルーティン

広い部屋ならば、1番の後、2番を2回続けて踊る（初めはロック・ターンで回転し、2回目に回転しないで）中央斜めに向かって3番に入る。

少し狭い部屋の時は、1番の後、回転しないロック・ターンの2番を踊り、そして3番へと続ける。（部屋のコーナーに近い場所で終る）

そこから、2歩前進のウォーク（S.S.）、左足に戻してバック・コルテ（S.Q.Q.S.）で新しいL.O.D.の壁に終わる。

直ぐにプログレッシブ・リンク（Q.Q.）クローズド・プロムナード（S.Q.Q.S.）（ウォークを入れない）でコーナーに向かい。バック・コルテで後退して新しいL.O.D.の壁に終わり（一番最初と正反対の位置）最初の1番に続ける。

8. チャチャチャの異なる「スタート」の仕方。（クローズとオープンからの）入門編では、左足横へ「1」から踊り出したのは、全て、音楽の小節の頭から、そして、左足からスタートするとの原則からであるが、他の踊り出し方、4.&.1.でシャッセ（又は右足から前進のロック）から踊る。左足を「2」から（前進、戻す）と ベーシック・ムーブメント で踊ることもあるので練習する。